

大阪府保育士会だより

ほほえみ

平成17年12月1日

第71号

大阪府社会福祉協議会

保育部会・保育士会

大阪市中央区中寺1-1-54

TEL 06-6762-9001



みんなで楽しく —リズム & ステップ—

月に一度の園開放日には地域の方がたくさん訪れます。在園児と一緒に園庭で遊んだり、「リズム&ステップ」の教室に参加したり、楽しみ方は様々です。
ジャズダンスの先生と一緒に体操やダンスをする「リズム&ステップ」では、最初は戸惑っている地域の子どもも、次第に打ち解けて一緒に楽しみ、帰る時には「ああ、楽しかった！また来るね」と笑顔を見せてくれます。

羽曳野市 高野保育園

ひよことお話 アノネ

—ほいくえんってたのしいね—



今年度から月1回の園庭開放を始めました。その一環として「二日動物村」に地域の親子の皆さんに参加していただきました。
子どもたちは小さな生き物に触れたり、大きな動物を前に目を丸くしていました。
保護者の方は保育室を見学したり、育児について保育士に気軽に相談しておられました。
今後とも地域との関わりを深め、地域に根ざした保育園を目指します。

交野市 私部保育園

地域ととも ふれあい大切に



よひひ、ネンネの赤ちゃん —憩いの場「ほわわ」



園庭開放&開放ルーム 気あいあいと話し合っている間に、順番で赤ちゃんの「ほわわ」は、基本的に月金の9時から4時までオープン。時間内ならいつでも、どなたでもお越しいただけます。
たくさんの方が集い、お母さんがホッとできたり、子どもも大人も友だちの輪を広げて、安全にのびのび遊んでいた
だけのよう
に長時間開
けています。
リトミック
ク・運動会
・おから遊
び・おもち
つきなど、
様々な行事
もしており、
いろいろな方に参加していただいています。なかでも、毎月開く「赤ちゃんサロン」も好評です。
ネンネからハイハイまでの赤ちゃんとお母さんが、十数組集まって1時間ほど楽しい時を過ごしていただいています。悩みや分からないこと、時にはわが子自慢を話し合う場にもなっています。お母さん同士で和

子育て支援シリーズ⑭ 茨木市 たんぽぽ保育園



「赤ちゃんサロン」を立ち上げて、2年になりました。
歩けるようになると卒業の赤ちゃんサロンですが、歩けるわが子の成長が嬉しい反面、参加できなくなるのが淋しいようです。
赤ちゃんサロンで友だちになったお母さん方が、園庭開放&開放ルームに通われるようになると、私たち職員も嬉しくなります。

援助技術などみっちり

3日にわたり 主任保育士研修会

主任保育士研修会が、7月20日、28日、8月8日の3日間、大阪社会福祉指導センターなどで開催されました。



▼第一日目

「これからの保育所に求められるもの」

講師 大阪府健康福祉部

児童家庭室

飯尾慎太郎 室長

保育士が国家資格となり、

子どもの発達を知る・保護

者を支える（相談業務の充

実）ことと、社会の時代背

景や行政を知って保育に取

り組む大切さが問われます。

親と地域を取り巻く環境の

変化は、子どもにも大きな

影響をおよぼし、多様な保

育サービスが求められます。

地域に根ざし、専門機関と

連携し、子どもが大切にさ

れ心豊かに成長できる社会

づくりの役割を担っている

のが保育園です。

「これからの主任保育士の

専門性と保育士の倫理」

講師 大阪府保育士会

武内茂子 会長

福祉の専門職としての自

覚を持ち、子ども、家族、

地域への幅広い支援ができ

る「質の高い保育士」を目

指して、自己研鑽を積みこ
とが大切と話されました。

かなければなりません。
保育士は相談に応じた場
合、個人として関わり、事
実を受け止め、親の気持ち
になり、共感することから
信頼関係が生まれます。い
かに支え、いかに納得でき
るか、問題解決にならなく
ても幸福感を高めるよう援
助することが大切です。親
の安心感や幸福感が与えら
れるように保育士一人一人
が保護者へ温かい言葉をか
ける連携がさらに必要です。

合、個人として関わり、事
実を受け止め、親の気持ち
になり、共感することから
信頼関係が生まれます。い
かに支え、いかに納得でき
るか、問題解決にならなく
ても幸福感を高めるよう援
助することが大切です。親
の安心感や幸福感が与えら
れるように保育士一人一人
が保護者へ温かい言葉をか
ける連携がさらに必要です。

合、個人として関わり、事
実を受け止め、親の気持ち
になり、共感することから
信頼関係が生まれます。い
かに支え、いかに納得でき
るか、問題解決にならなく
ても幸福感を高めるよう援
助することが大切です。親
の安心感や幸福感が与えら
れるように保育士一人一人
が保護者へ温かい言葉をか
ける連携がさらに必要です。

合、個人として関わり、事
実を受け止め、親の気持ち
になり、共感することから
信頼関係が生まれます。い
かに支え、いかに納得でき
るか、問題解決にならなく
ても幸福感を高めるよう援
助することが大切です。親
の安心感や幸福感が与えら
れるように保育士一人一人
が保護者へ温かい言葉をか
ける連携がさらに必要です。

「現代の家庭をとりまく状
況・その支援について」

講師 神戸親和女子大学

寺見陽子 教授

現代社会において、核家
族・少子化が進み豊かな生
活環境、意識の変化により
地域や家族の人間関係が変
化していることで、孤立化
虐待・DV・育児能力の低
下などの理由で支援の必要
な家族が増えています。家
族安定のためには、保育士、
専門機関、地域との連携に
より家族援助支援をしてい

「保育所における社会福祉
援助技術について」

講師 大阪市立大学

山懸文治 教授

「地域・家族に向かう福
祉」という観点から、大変
難しい内容を、グループワー
ク形式で、わかりやすく具
体的に進めて下さり、よく
理解できました。これから
の保育所は、地域への支援
を中心とし保育士がコミュ
ニティソーシャルワークの
技術を学び、地域の拠点と

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

なるワーカー的存在になる
ことが求められているとい
うことでした。今、保育所
に求められる支援①来ても
らう支援（園庭開放・一時
保育）②出かけていく保育
（育児支援・家庭訪問事業）
③相談、援助。園の中では
学びました。

心と体を健やかに ～食べることは 生きること～



講演される
中尾統括情報官

保育士研修会が9月14日、
社会福祉指導センターで開
催されました。はじめに、
大阪府保育士会会長の武内
茂子先生から最近の子ども
の様子、事例をあげてお話
していただき、保育士から
保護者への伝え方のポイン
トなどを教えていただきました。
続いて、河内プロッ
クの保育士3人による手品
の披露では、参加者も童心
に戻り、ひとつひとつの出
し物に大きな拍手が湧き起
こりました。

だそうです。
続いてキリン、ライオン、
牛などの動物は、生きるた
めに歯や胃などが進化した
ことをスライドを通して理
解できました。

現代の日本人は飽食、高
カロリーで糖尿病などの生
活習慣病が増えているそう
です。やはり日本食。ごは
んが一番だそうです。だし
味を中心にする脂を使わ
ず満足感が得られるため、
乳児の時からだし味に親し
むことが重要です。

また日本人全員がたった
一粒のお米を残すだけで10
キロの米袋87袋を捨てるこ
とになるそうです。

★トピックス★

この研修資料のCDを中
尾先生からいただきました
ので、次回の保育士会総会
時にお渡しする「研修レポ
ート」に掲載いたします。C
Dを希望される方は実費に
ておわけ致しますので、事
務局まで。



寺見先生の実技指導

全国保育士研究大会

山形市に千人の熱気

「専門職として保育士は今」



10月12日(水)から14日(金)の三日間、山形市民会館で、第39回全国保育士研究会大会が開催されました。テーマとして、「専門職として保育士は今」——次世代育成支援における保育士の役割を考える——を掲げて行なわれました。

オープニングでは、華やかな「花笠音頭」と、村山



大阪府保育士会会長に感謝状の贈呈が行なわれ、その後参加者全員で「私たちがいるんです」を斉唱しました。

行政から、厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長の八神敦雄さんが「子ども・子育て応援プラン」の説明として、4つの重点課題をあげ、5年間に講ずる施策と目標や、10年後の目指すべき社会の姿について話されました。

また、御園愛子全国保育士会会長の基調報告の中で①保育士の専門性の確立と資質向上の支援②子育て文化の再構築③保育士会組織の強化、という保育士会事業の3つの大きな柱についてのお話がありました。

パネルディスカッションでは、「地域子育て支援システムの構築をめざして——子育て力をエンパワーメント——」をテーマに発表がありました。

今、親が自分の力で楽しむながら子育てができるように、保育士が支え子育てする人のパワーをエンパワーメントし、社会参加できるように応援することを求められていますと熱く語られました。

近年、子どもの育ちについて様々のひずみや危うさが報告され、いわゆる「育ちの危機」が深刻化が進み、家庭・地域社会の育児力の回復はまだ課題を残しています。

保育所は自らの取り組みを単に運営状況だけでなく、その質について真剣に客観的に評価を行ない、改善向上を図ることが必要です。その過程で、保育士は確かな力量を獲得し、さまざまな場で対等に論じ合い協力し合うことができるのだと思います。

保育士の学びシリーズ②

大阪府立大学(社会事業短期大学)

待井和江 名誉教授



待井和江先生

期待と不安の思いで見守っていた「総合施設」のあり方について「審議のまとめが、平成16年12月に発表されました。それによると、総合施設構想は「幼保一元化」にこだわらず、既存の幼稚園、保育所の存続を前提として、新たに総合施設が加わる

期待と不安の思いで見守っていた「総合施設」のあり方について「審議のまとめが、平成16年12月に発表されました。それによると、総合施設構想は「幼保一元化」にこだわらず、既存の幼稚園、保育所の存続を前提として、新たに総合施設が加わる

1、親の就労の有無や形態などで区別することなく、幼児教育・保育の機会を提供する。

2、在宅を含め地域の子育て家庭への相談・助言・支援・親子の交流の場を提供する。

3、早朝や夜間の保育、一時保育の実施・子育て支援に関する情報の提供・虐待予防などの観点から関係機関と連携する。

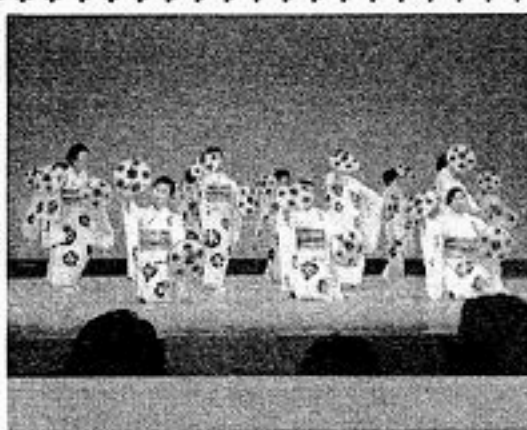
前回の触れましたが、まだまだその内容は決してすべてに納得できるものではありません。

近年、子どもの育ちについて様々のひずみや危うさが報告され、いわゆる「育ちの危機」が深刻化が進み、家庭・地域社会の育児力の回復はまだ課題を残しています。

保育所は自らの取り組みを単に運営状況だけでなく、その質について真剣に客観的に評価を行ない、改善向上を図ることが必要です。その過程で、保育士は確かな力量を獲得し、さまざまな場で対等に論じ合い協力し合うことができるのだと思います。

総合施設構想をふまえて

2日目は、第2—2分科会に参加しました。「保護者支援を深める——子ども虐待への対応——というテーマで、新潟県の入舟保育園・



会場を魅了した山形花笠音頭

渡辺サヨ子園長、長崎県の星の子保育園・辻本恵津子園長から、それぞれの園での虐待事例をもとに、保護者とその子どもへの支援策について実践研究を発表されました。通告、見守りの見極め、決断の難しさが参加者共通の問題でした。それについて、東洋英和女学院大学の大嶋恭二教授からコメントがありました。保育士一人の頑張り、一機関だけの関わりでは解決できない。関連機関で連携をとりながら支援することの大切さを助言していただきました。

3日目は、女優の萩生田千津子さんによる記念講演「活かして生きる——車いす女優として——というテーマでお話がありました。事故で車いすの生活になり、失ったものは大きいですが、心が豊かになり、人はみんな他人のために頑張っているのではなく、自分自身のために頑張っていることを気付かされ、自分の身体に感謝し、ほめることで本当の癒しが得られることを教えて頂きました。

最後の創作民話の語り芝居が胸に染み、研究大会を感動の内に終えることができました。

たのしい保育活動



“伝承遊びを通して”



近年、子ども同士が賑やかに走り回る姿もあまり見かけなくなってきました。

核家族や少子化の傾向により人と人との繋がりが希薄になり、自由な遊びの工夫が出来なくなってきたように思います。

そこで園では、保育の中に子どものスムーズなコミュニケーションの手助けとして、古くから伝わる日本の遊び（伝承遊び）を積極的に取り入れていきます。竹馬、こま、メンコ・ケン玉、あ



やとり、お手玉……。私たちは懐かしい響きですが、子どもには意外と新鮮に映るようで、みんな生き生きと遊びに熱中しています。年長児などは、子どもたちでいろいろ遊び方を相談しながら輪を広げているようです。先日、地域のおじいちゃん、おばあちゃんを園にご招待した時も、昔ながらの“伝承遊び”を一緒

に楽しみました。「おじいちゃんもう1回やって！」「じょうずやなあどこでやったん？」「おじいちゃん小さい時はこんなふうしたで！」「おてだま何個できるのん？」など、世代を越えての遊びの発展に伝承遊びの良さを知りました。伝承遊びは単純なようで奥が深く、純粋な知的好奇心を刺激します。そして自由な発想や友だちとの繋がりが必要なものが多いので、健全な発育や人格形成にい

い影響を与え、人と人（親子など）との繋がりを深めていくことが出来ると思います。

古来より遊びというものは、子どもにとって大切な

たくさんの方々や花に囲まれた園庭で、子どもたちは、四季折々の変化に触れ遊んでいます。

保育あんな工夫、こんな工夫 暖かい『あかり』の演出

この時季は、日が暮れるのも早く、大好きな園庭も、暗く寂しい雰囲気になります。そこで、色々な照明をつけ、暖かい「あかり」の演出をしました。



木々にはライトをあてることで、幻想的な雰囲気を作り出すことができました。足元も明るくなり、降園する親子は穏やかな表情で、ライトアップされた木々を見ながら帰ります。暗くて

見ながら帰ります。暗くて

コミュニケーションツールでした。考え、ルールを作り、体を動かし、時には他人の気持ちを考えてみる……。全てが出来上がっていて、与えられるだけの最近のおもちゃや映像ではなく、自分から動いて楽しむ、ということを感じとってくればなによりではないでしょうか。

花園保育園 正野秋恵

見えにくかったエントランスの掲示板にもスポットライトをあて、その下の作品棚には、かわいらしいスタンドを置きました。ほのぼのとした「あかり」の照明

編集後記

12月ともなるとクリスマスソングも流れ、楽しみに夢をふくらませる子どもたちの半面、私たちは、なによりあわただしさを感じる昨今です。

また、新聞やニュースで報道される異常な行動をとる少年犯罪の多さに戸惑いを感じています。戦後の教育を振り返り、また、今の親子関係や子どもたちを取り巻く社会状況についても私たちは考える必要性があるのではないのでしょうか。

0歳から就学前の子どもたちを預かる私たちに出来ることは、子どもたちとの日常保育は勿論のこと、仕事をもち忙しく働く母親に對し、この人生にどれほどの影響を与えるのかという

まで、ほっとさせてくれませう。食事やおやつ時間のために、テーブルの上にペンダントライトをつけました。テーブルを囲んだ様子はとも幸せそうです。ランチもよりおいしそうに見えるから不思議です。

絵本を読み聞かせるときに、部屋を少し暗くして、

ことに、耳を傾けてもらう必要性があると思います。6歳までに人格のほぼ80%が完成するともいわれ、また、0歳で脳の重さは400gであったものが、5歳では1200g、9歳ではほぼ大人の重さの1300gになるそうです。テレビやゲームに依存する子どもは、話す・考える・運動する能力が育ちにくく、様々な問題を引き起こす要因にもなりかねません。

子どもたちは親の愛情をいっぱい受け育って欲しいと思います。保育園・家庭・地域がひとつになつて子どもの成長を見守りたいものです。皆さん楽しい年末年始をお過ごし下さい。

保育者にライトをあててみました。いつもと違った、静かな落ち着いた雰囲気になり、子どもたちも、絵本の中の世界に吸いこまれたように聞いています。やさしく照らし出す「あかり」の工夫で、夕暮れどきから、夜の保育室も居心地のいい空間になりました。

竹宝保育園 小倉千明

